

また、当まつりに出展している中で、一番興味があったのは以下の団体です。

ボランティア団体「愛ちゃんぷる～」

この団体は、以前丸井今井のテナントで働いていた方（通称：イナリン）が、震災の地で出会った者同士設立した団体です。

下の写真は「希望の缶詰」大作戦の缶詰めです。



↑津波の爪あとがわかります（写真右）。泥だらけだった缶詰めをここまできれいに再生しました

「希望の缶詰」大作戦とは、津波で流されてしまった缶詰（生産者が心をこめて作った缶詰）を拾い集め、ひとつひとつ丁寧に汚れを洗い流し販売を再開するというものです。この缶詰、中身の魚は何かわかりません。津波で流されラベルも見えない状態からの再生なので当然です。

しかし、この缶詰の中身は現地の人たちの誇りと海の幸が詰まっており、消費者の活力になるのは間違いありませんね。

心をこめて作られた缶詰が、善意ある人により復元され、必要とされる人に渡る……。イナリンが現地から函館へ持ってきた2,700個の缶詰は、すでに完売に近いとのこと。函館でも認知されてきているのですね。

↓缶詰めにはこちらのラベルが貼られています。

<p>鯛(イワシ)はたおやかな心を 秋刀魚(サンマ)は明晰な頭脳を 鯖(サバ)は若き情熱を 鰯(カレイ)は飛躍する 力を あなたに</p>	<p>木の屋石巻水産製造 この一缶から 明日へ 希望の缶詰 イワシ・サンマ・サバ・カレイ 水煮・味付け</p>	<p>石巻の復興に 応援を!!</p> <p>◆大津波が襲った石巻市。救護物資が届くまでの数日間、多くの人を預った缶詰がありました。互いの下から掘り出し、きれいに洗った木の屋の缶詰です。この缶詰の中身は分かりませんが、でもこの中には、石巻に生きる人たちが誇りを抱いて作った豊かな海の幸が詰まっています。残された缶詰に明日を託し、復興の一歩に。</p>
---	--	---

イナリンはそれ以外にも、北斗市で取れた新鮮な野菜を現地で販売しており、これは現地でも定着しているようです。

以下、イナリンの活動を掲載します。実は彼、ミュージシャンの肩書きも持っているのです。音楽の方面でも被災地の方を勇気づけておられるのですね。

今後も頑張ってください。そして力になれることがあれば何なりと言って下さいね。

函館から石巻へ イナリンの活動 Vol.1 支援者大歓迎

☆ 被災地支援への道

2011年3月11日、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方。イナリンは、早速被災地支援のチャリティーライブや、現地への物資調達活動を函館から始めました。

☆ 愛ちゃんぷる～

石巻市の現地で出会った同志と共にボランティア団体愛ちゃんぷる～を設立。倒壊した建物の修繕作業や物資調達に尽力します。

☆ 愛マーケットの開催

石巻の被災現地では、信号の復旧もままならず、住民の方々は食糧購入のため、遠くのスーパーまで足を運ばねばなりませんでした。ご高齢の方々には辛いことです。そこで、イナリンは、北斗市の新鮮野菜を石巻市へ送り、格安で販売を開始しました。毎週決まった時間に協力頂いた場所で、野菜市場・愛マーケットを開催しています。現地では、すっかり定着し、販売拠点をこれからもっと増やす予定です。

☆ 「希望の缶詰」大作戦

石巻水産という会社があります。津波で流された心を込めて作った沢山の缶詰を拾い集め、ひとつひとつ丁寧に汚れを洗い流し、販売を再開しました。イナリンは、これに共感し、まずは函館での販売販路を開拓しました。8～9月にかけて帰函時に持ち帰った缶詰は2,700缶!完売に近い状態です。NHKニュースでも取り上げられ、その活動は広く認知されつつあります。

☆ 今後の活動

石巻市の隠れた名産を販売し、仕事を失った方々の雇用創出を考えています。目標の一つとして、会社設立・HP立ち上げも念頭に置いています。